



年 組 名前

道新で ワークシート

卓上四季

北海道の花見は5月の大型連休明けが本番と、何となく思い込んでいたが、そうとは限らない。今年、は渡島管内松前町が先月23日にソメイヨシノの開花宣言をしたのはじめ、すでに各地からサクラの便りが届いている▼本格的な春の訪れを知らせる花だが、つぼみができるのは前の年の夏なのだそう。ならば、春と同じような気候の秋に咲いてもよさそうだが、それでは次をやってくる冬の寒さのために種をつくれな。そこで、「越冬芽」という硬い芽に包まれて眠りに入る▼その眠りを覚まさせるのは春の暖かさではなく冬の寒さだ。「寒さが厳しいほど開花の準備が早くに整い、開花できる暖かい温度に出会うとすぐ反応できる」という。植物学者・田中修さんの著書「植物はすごい 七不思議」に教わった▼田中さんによると、サクラが咲き始める時期の平均気温は、鹿児島市の13度前後、京都市の11〜12度に対し、札幌市は9〜10度。厳しい寒さゆえに、サクラの目覚めが良く、低い気温でも花が咲く▼こうしてみると、国内でサクラにふさわしい土地は北海道とも思えてくる。ただ、道産子にとって冬は春の準備期間にとどまらない。積極的に冬を楽しむ。そこは、サクラを上回っているかもしれない▼桜前線は道東や道北へと広がっていく。花見の席で薄紅色の花を眺めつつ、こんなサクラの不思議に思いを巡らすのも一興では。

2017.5.7

2017年5月7日朝刊1面

①「国内でサクラにふさわしい土地は北海道とも思えてくる」とありますが、その理由を記事中の言葉を使い、30字程度で説明しなさい。

②この記事について、適切なものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア. 北海道の花見は5月の大型連休明けが本番という事実を出し、説得力を高めている。
- イ. 秋に咲くサクラがあるという意外な事実で、読者の興味を引きつけている。
- ウ. 本からの引用を載せることで、サクラの開花の仕組みをわかりやすく説明している。
- エ. 筆者の体験を書くことで、北海道の冬の楽しさを具体的に説明している。